

平成30年春の叙勲 旭日小綬章、ジェーン・バーキンさんへ

－ 6月18日、パリの在仏日本大使館で授与式－

日本・フランス間の相互理解および文化交流の促進に寄与した功績により、平成30年春の叙勲（平成30年4月29日発令）で旭日小綬章を受章したフランスの歌手・女優のジェーン・バーキン（本名ジェーン・マロリー・バーキン）さんへの旭日小綬章の授与式が6月18日夜、パリの在仏日本大使館で開催され、木寺昌人駐仏日本特命全権大使から勲章が手渡されました。

バーキンさんと日本の繋がりは深く、映画、コンサート、で数多くの日本のファンを魅了し続けている他、平成23年の東日本大震災発生からまもない同年4月6日、復興支援活動のためにいち早く来日し、「ジェーン・バーキン震災復興支援コンサートTogether for Japan」と銘打ったチャリティーコンサートを開催、コンサート直前まで渋谷パルコPart1の店頭でのチャリティーイベントに出席し、自ら募金を呼び掛けました。その後も東日本大震災復興支援を目的に

「Jane Birkin sings Serge Gainsbourg “VIA JAPAN”」を世界27か国77公演を敢行、最終公演は、2013年3月に岩手県石巻と松島、そして東京で開催されました。

今回の受章について、ジェーン・バーキンさんは以下のようにコメントしています。
「大変光栄でとても幸せです。この名誉は、私にとってはフランスの勲章より素晴らしいです。宝物として、皆さんと同様一生大切にします。皆さんと一緒に分かち合えたことが幸せです。また近々お目にかかれますように。メルシー、メルシー、どうもありがとうございます。総理大臣ありがとうございます。そして天皇陛下万歳。」

ご支援いただいた日本の皆様へジェーン・バーキンさんからのメッセージです。

<https://vimeo.com/275752635>

株式会社パルコは、偉大なアーティストであり、永遠のファッションアイコンであるジェーンさんの芸術性のみならず、東日本大震災復興支援活動をはじめとする、その人道主義に深く感銘し、ジェーンさんの活動に関わってきました。今回の旭日小綬章受章に対し、喜びに堪えません。今後もジェーン・バーキンさんと共に日仏の相互理解、文化交流事業に携わっていく所存です。



ジェーン・バーキン(Jane Birkin)

イギリス生まれ。

ミケランジェロ・アントニオーニ監督の『欲望』(1966)で本格的に女優としてのキャリアをスタートする。作曲家ジョン・バリーとの離婚を機に娘のケイト・バリーを連れ渡仏。

パリでピエール・グランプラ監督の『スローガン』(1969)で主演に抜擢され、共演をきっかけにセルジュ・ゲンスブールと運命的な出会いを果たす。

女優として活動するかたわら、セルジュとデュエットした『ジュ・テーム』はそのエロティックな内容で世界的に波紋を呼ぶ。その後、『ジェーン・B~私という女』などを含むセルジュと二人名義のアルバムで歌手としてのキャリアをスタート。

『ディ・ドウ・ダー』(1973)から'80年に別離を経ながらも『いつわりの愛』(1990)まで6枚のアルバムをセルジュがプロデュースする。

'80年以降は、3番目の夫となったジャック・ドワイヨン監督『ラ・ピラート』でセザール賞主演女優賞にノミネートするなど、演技派女優として、映画だけではなく舞台へも活躍の場を広げる。

私生活では、3度の結婚でそれぞれ授かった、ケイト・バリー(写真家)、シャルロット・ゲンスブール(女優、歌手)、ルー・ドワイヨン(女優)の良き母である。また、'84年に誕生したエルメスのバッグ【バーキン】は、飛行機の隣に乗り合わせたエルメスのジャン・ルイ・デュマ5代目当主が荷物のあふれ出しそうなジェーンのかごを目にしたことがきっかけで生まれ、彼女の名が冠されたという。

2013年、東日本大震災の復興支援活動により、外務大臣表彰が送られる。
2018年、春の叙勲にて旭日小綬章を受章。

<株式会社パルコの関わり>

2011年4月

ジェーン・バーキン震災復興支援コンサートTogether for Japan @渋谷クラブクアトロ

2011年11月

Jane Birkin sings Serge Gainsbourg "VIA JAPAN" 東京公演

来日公演記念ジェーン・バーキン写真展

PARCO×MAJOLICA MAJORCA クリスマスTREE 2011 点灯式

2013年3月

Jane Birkin sings Serge Gainsbourg "VIA JAPAN" 岩手県石巻、松島、東京公演